

シリーズ わがまちの文化財へ17

町指定史跡 龍王山城跡

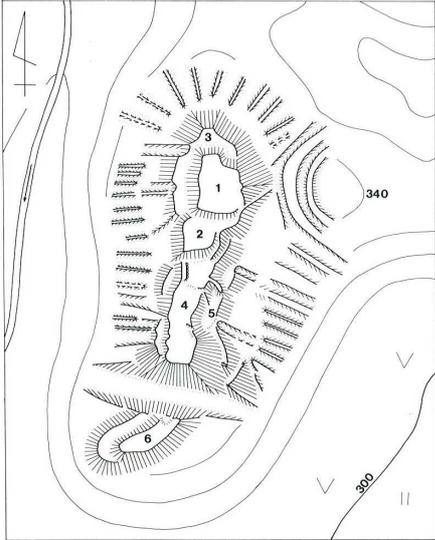
平成12年10月17日指定

世羅町長田にある龍王山城跡は、急峻な斜面を利用し作られた中世の山城で、六つの郭（曲輪）と大小数多くの畝状の空堀や、掘切が南北に200m、東西方向に100mの広範囲に残っています。



「毛利家文書」には、応仁・

文明の乱末期の文明七年（一四七五）に、東軍の拠点の一つだった「横坂要害」を毛利豊元が落としたとの記述が見られます。この「横坂要害」が、龍王山城と言われており、現在残っている遺構は毛利方の攻略後に改修された状態と考えられます。虎口と呼ばれる城の出入り口や石塁も一部残っており、



当時の山城の造りの見本ともいえる城跡です。

図測実城龍王
遺館城龍王
第3集 1995年
調査報告書
広島県教育委員会編集
より抜粋

シリーズ わがまちの文化財へ18

町指定重要文化財

廃光明寺宝篋印塔

昭和55年6月16日指定

世羅町京丸にあるこの塔は、花崗岩製で、全長2m44cmです。一辺約4.5mの石積基壇の上であり、町内ではもっとも大きい宝篋印塔です。笠部にある隅飾突起と呼ばれる部分の反りが少ないことや、伏鉢ふせばちが大きいことなどの特徴から、鎌倉時代から南北朝時代に造られたものと考えられます。平成9年度には発掘調査が実施され、石塔の下からは同時代須恵質の甕かめが出土しました。甕の中には経典が納められていたと考えられますが、残っていませんでした。隅飾突起のひとつには蓮華座と月輪が刻出されています。このような彫刻が施されたものは、尾道などには数多く確認されていますが、町内ではほかに例がありません。周辺には廃万福寺跡を中心にこのほかにも数多くの石造物が残っています。

